

長年サポートし続けてくれているし、運営のお手伝いをボランティアでしてくれたり、とにかく温かい。そこが、魅力であるし、絶やさないでいきたいと思っています。選手に関しては、まず、物理的に身体能力が高い選手が多い。これは、就任してからすぐに面白いと思えました。内容に関しては、今までのスタミナサッカーから、私の好きなチーム バルセロナのような繋ぐサッカーに切り替えています。繋ぐサッカーを取り入れるから、若い選手もベテランの選手も違うポジションで花開いた選手が多い。そういった意味では、持ち味として、身体能力を發揮しつつ、まだまだ伸びしろのたくさんあるチームです。さらに、パス・コントロール・シュートはもちろん、周りを見ると、予測するとか多方面の精度にもこだわって、自分の目指すサッカーに最大限に近づけていきたいですね。

益城町で生まれ育った日本代表選手を

—— 益城町の感想と益城町の皆さんへコメントをお願いします。

緑が多くて、水がおいしい。皆さんがPRされるとおりだと感じます。それに加えて、益城の人々は、とにかく人がいい。見返りを求めず、人のために親切に接してくれるし、「応援しています」と声

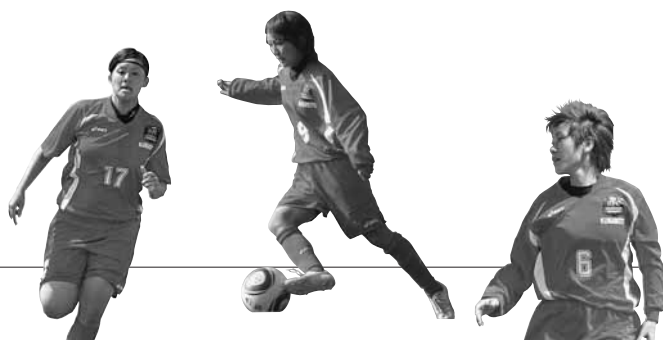
かけられるのが本当にうれいです。益城町とホームタウン契約する前は、小学校の小さなグラウンドで練習するしかない厳しい環境だったので、設備の整ったグラウンドや体育館のジム、親切なスタッフに恵まれ感謝しています。

益城町の皆さんには、まずは、私たちのサッカーを直接見てほしい。グラウンドに来て、サポートと一緒に応援してもらえば、その良さはすぐにわかると思います。9月からは幼稚園児からの小さい女の子を対象としたガールズサッカースクールも始めます。益城町で生まれ育った子が、ルネサンスを背負って立ち、そこからなでしこジャパンとか、代表選手までいくというのが理想ですね。

生え抜き選手の育成もそうですが、県外からの有力選手の獲得も必要です。来シーズンからは全国リーグに乗り込み、全国各地を飛行機で移動することにもなるのでどうしても資金面の工面も必要になってきます。選手にはサッカーにできる限り集中させてあげたい。その資金の獲得も課題の一つです。私たちは、所属チームに関係なく、月1回のサッカークリニックも行っていきます。サッカー人口を増やし、益城町、そして熊本の子サッカーを盛り上げる組織をこれから作っていきたくと思っています。応援をお願いします。



元なでしこリーガーの女性コーチが指導するルネサンス・ガールズサッカーが9月開校する。対象は幼稚園児から小学校3年生まで。サッカーを通じて、遊びの中からスポーツの楽しさや集団生活を学んでいく。この中からなでしこジャパンを背負って立つ選手が誕生するかも。まずは無料体験会に顔を出してみてください。



するために、私たちは以下のルールを約束します。
引き分け(勝ち点1)で1000本、勝利(勝ち点3)で3000本、子どもたちにワクチンを贈ります。1日約4千人もの子どもたちが、ワクチンさえあれば予防できる感染症にかかり5歳まで生きることができないという厳しい事実を少しでも多くの人に知っていただくために：
私たちは勝ち続けます。

※WHO/UNICEF「予防接種報告」
2006年より

※「わたしたちのルール」は、新日本製薬株式会社と益城ルネサンス熊本フットボールクラブの共同プロジェクトです。

記憶に新しい、なでしこジャパンのワールドカップ優勝という歴史的快挙劇。益城ルネサンス熊本の選手たちは、その女子サッカーのトップリーグ参戦を目指し、今、九州リーグを勝ち進んでいる。

「全ての人の熱い思いを『結果』という形で恩返ししたい。やるからには1番を目指す」と語った福田監督。町から日本リーグへの飛躍は、町民みんなの夢でもあるはずだ。

今回の本町でのゲームは9月25日。彼女たちのあきらめない姿をぜひグラウンドに来て自分の目で確かめてほしい。